

# 10月20日（木）<sup>ぶん</sup>2つ分

今日は10月20日。リサイクルの日です。10を「ひとまわり」、20を「ふたまわり」と読んで、「ひとまわりふたまわり」、同じ物を何回か使って、物を大切にしましょう、そんな日です。でも今日は



算数<sup>さんすう</sup>の頭<sup>あたま</sup>になって、このメッセージを<sup>よ</sup>読んで<sup>くだ</sup>下さい。

10月20日。10が2つ分で20。10 + 10 = 20。

3年生以上なら10<sup>かける</sup> × 2 = 20とも書けますね。では、問題<sup>もんだい</sup>です。10月20日のように、月の数<sup>かず</sup>の2つ分<sup>ぶん</sup>が日<sup>ひ</sup>になるのは、一年<sup>いちねん</sup>にどれだけあるでしょうか。

1つ例<sup>れい</sup>をあげると、1月2日（1の2つ分<sup>ぶん</sup>が2）です。他<sup>ほか</sup>の日<sup>ひ</sup>を見つけてみましょう。

これが分<sup>わ</sup>かった子は、月の3つ分<sup>ぶん</sup>が日<sup>ひ</sup>になっている日<sup>ひ</sup>を探<sup>さが</sup>してみましよう。例<sup>れい</sup>をあげると1月3日です。さて、いくつありますか。2つ分<sup>ぶん</sup>の日<sup>ひ</sup>の数<sup>かず</sup>と同じでしたか。

算数<sup>さんすう</sup>の頭<sup>あたま</sup>で数<sup>かず</sup>を見ると、いろんな問題<sup>もんだい</sup>を作<sup>つく</sup>れます。それを考<sup>かんが</sup>えるのも、その答<sup>こた</sup>えを探<sup>さが</sup>すのも、頭<sup>あたま</sup>を磨<sup>みが</sup>くのに、とってもいいです。

村越 新